

3月 は 自殺対策強化月間です

日本における年間の自殺者数は、14年連続して年間3万人を超え、人口10万人当たりの自殺者数は、先進国の中でも突出しています。特に20代、30代の死因に占める割合は「自殺」が第1位となっています。これら自殺の問題は、深刻さを増し、まさに待ったなしの状況です。

自殺の背景には実に様々な問題がからんでいます。

このため、国は“ゲートキーパー”制度を設け、その養成に取り組んでいます。

ゲートキーパーとは、自殺のサインに気づき、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人で、言わば「命の門番」とも位置付けられています。悩みを抱えた人は「人に悩みを言えない」「どこに相談に行ったらいいかわからない」「どのように解決したらいいかわからない」などの状況に陥ることがあります。周囲が悩みを抱えた人を支援するため、周囲の人々がゲートキーパーとして活動することが必要です。

あなたも“ゲートキーパー”の輪に加わりませんか？

詳しくは、次の URL にアクセスしてください（2月27日～3月31日）。

自殺対策強化月間特設サイト <http://promotion.yahoo.co.jp/gatekeeper/>

あの未曾有の大災害をもたらした東日本大震災からちょうど1年が経過する3月11日にあたり、人と人のつながり“絆”の大切さについて、改めて考えてみませんか？

